

平成23年度 博物館実習

9月7日(水)から14日(水)まで、学芸員資格の取得を目指す大学生19名が博物館実習を受講しました。一週間にわたる実習の成果は、普段と違った若い感性あふれる寄贈品コーナーの展示をご覧ください。



古文書の裏打ち作業を学ぶ実習生

博物館
実習生
制作

お家の神様



今年度も、私たち博物館実習生19人による企画展示が行われています。「皆さんは、神様と聞いて何を思い浮かべますか？」という呼び掛けから始まる今回の企画展示は、現代の私たちの、曖昧な神様像に一石を投じ、そこから、昔の神信仰への知識を深めて貰うことをテーマにしました。そして、日々の暮らしを神様に感謝してきた文化に触れることで、た

だなんとなく過ごす毎日の有難みについて、見る人に少しでも考えて貰うきっかけづくりを、と考えました。



解説原稿執筆中



イメージキャラクター製作中

実習生の展示は、例年寄贈品コーナーで行われていますが、今年度の展示はその直前にある民家から既に始まっています。というのも、今年度の展示は「お家の神様」に焦点を当てているからです。ぜひ、民家の神棚で神様が祀られている様子に注目してから、順次寄贈品コーナーでの展示を楽しんでください。

展示は、始めに平塚市岡崎の沼田家に遺された大量のお札から、お家での神信仰の様子を伺うことから始まります。そして以降に、「お家の神様」である水神、荒神、大神宮、恵比寿大黒、稲荷の各神様の説明と、当時の人々の信仰の様子が紹介されています。

インパクトのある大神宮の神棚の配置や、リアルに再現したお供え物のジオラマは、私たち実習生の渾身の工夫が感じられる点であると思います。実習生オリジナルキャラクターと共に、神様への知識を深め、神様にまつわる皆さんのお話を絵馬に書いたりして、楽しんでいってください。(法政大学 千葉香菜子)



完成した展示と実習生一同